

留学報告書

～「挑戦」から得たもの～

ボーリンググリーン州立大学
外国語学部生（長期）

私は、「挑戦」を胸に留学生生活を過ごして、自分自身が大きく成長できたと思います。また、留学生活でたくさんの思い出を得ることができました。

まず初めに、自分が緊張や失敗から逃げていたということに気づきました。アメリカに到着した時に、自分の英語が恥ずかしいと思っていました。恥ずかしいから小さな声で話し、相手は聞き取ることができない、そして、聞き返され落ち込んでしまうという悪循環がありました。そんな時、一人の留学生に出会いました。彼は、私と同じ交換留学生で、偶然にも同じクラスを受けていました。初めに彼を見たときは、少し変わっている人なのかと思いましたが、良い意味で私と全く違っていました。彼は、クラス内でも目立っていました。私は、「それは当然のことだろう。なぜなら彼は、留学生で、ネイティブではないから。」と思っていました。しかし、それは全然違いました。彼は、何十人もアメリカ人学生の前で自信満々に自分の意見を発言しました。彼が目立っている理由は、留学生だからではなく、ただ単に彼の意見が良かったからでした。堂々と発言している姿を見て、私は、自分で自分の首を絞めていたことに気が付きました。「自分の発音が良くないから」、「うまく話すことができないから」と自信を無くしてしていました。でも彼を見て、英語がうまく話せないのは当然のこととそれを練習するためにここに来ているのだと再認識することができました。それから、現地学生と積極的に会話しました。未だに、プレゼンテーションやディスカッションは緊張してしまうけれど、「失敗は成功のもと」という言葉を信じて頑張り続けます。

次に、留学生同士の交流を通して、人と人との関わりを改めて知ることができました。。アメリカに到着して間もない頃、英語が全く話せなかった私は、不安でいっぱいでした。ですが、だからといって部屋に閉じこもるのではなく、たくさんのイベントに参加しました。何度もイベントに参加することで、顔を覚えてもらい、友達もたくさんできました。特に、他の国から来た留学生と仲良くなりました。彼らは、私よりも英語を話すのが上手で、私は当初、傾くことしかできませんでした。自分の英語力が皆無なことに気づき、落ち込んでいました。ですが、彼らは私を下に見るのではなく、同じ「仲間」として接してくれました。偶然同じクラスになった時、隣でご飯を食べていた時、同じ方向に歩いていた時、彼らは積極的に話しかけてくれました。特に嬉しかったのは、私の誕生日会を開いてくれたことです。

遠いところまで材料を買いに行き、アジア料理を振舞ってくれて、ケーキも買ってくれて、最高の思い出になりました。それぞれ国や年齢は異なるけれど、人はみんな同じであると再確認できました。

そして、留学中に大きな支えとなったのは、日本人の現地学生と、交換留学生です。私は、日本人留学生の中でも、英語力がかなり低い方でした。留学生の提出書類、参加しなければいけない会などを現地の留学生サポーターが説明してくれるのですが、聞き取れないことが何度もありました。一般の学生と一緒に受ける授業も難しい上に、先生に質問することができなくて悩んでいました。その時、私を支えてくれたのが日本人の他の大学から来た留学生でした。一緒にオフィスへ行って私の代わりに説明をしてくれたり、授業では代わりに質問をしてくれたりしました。私自身が自ら進んで行動しないといけないことはわかっていたのですが、なかなか一步を踏み出せなかった私に勇気をくれました。テストの前の週には、毎日図書館へ行って、午前二時まで一緒に勉強していました。正直、あんなにつらい勉強はもうないだろうと思うくらい辛かったのですが、今となっては良い思い出だと思います。ジャパニーズクラブも私の留学生活の楽しみの一つでした。ハロウィンパーティーでは、仮装コンテストを行ったり、普段のジャパニーズクラブでは、折り紙、書道など日本の文化を現地の学生に紹介したりしました。普段勉強尽くしで行き詰まっていた時の息抜きはこのジャパニーズクラブでした。日本人の先生、あきこ先生の自宅へお伺いして、先生が作ってくださった日本料理や、みんなで作ったピザはとても美味しかったし、食事文化が大きく違うせいで少しストレスを感じていた自分にとっては、幸せな場所でした。

最後に、ルームメイトとの生活について話したいと思います。一学期の間にいろんな出来事があったけど、ルームメイトと過ごすことができ良かったと思っています。私のルームメイトはフランス人で私よりも四歳年上でした。英語はもちろんペラペラで、落ち着きがあり、お姉さんの存在でした。私は、その寮に移動した当初は、英語で話しかけるのも精一杯だったので全く話しかけませんでした。彼女は、私と仲良くなろうと日本の映画と一緒に見たり、料理を作ってくれたり、常に話しかけてきてくれたりしたのですが、それにまったく応えることができませんでした。ですが、一緒にイベントに参加したり、同じ寮の仲間たちとスポーツやビリヤードで遊んだりして、仲良くなっていきました。最初の学期の中間の時期に私は、彼女のことが少し嫌いになってしまいました。なぜなら、彼女は大のお酒好きでよく部屋で友達とお酒を飲み、部屋を汚していたからです。私は、別室を希望しましたが、その希望は通りませんでした。何週間か経って二人の会話は減りました。ですが、私が悩んでいた時、彼女は必ず理由付きでアドバイスをくれました。何度もアドバイスをくれたおかげで、クラスや友達関係も良くなりました。正直、ルームメイトになったばかりの頃は、一

学期しかいないから良かったと思っていたけれど、最後は、相談相手でたくさん頼ったルームメイトがいなくなるのは悲しかったです。最終的には、ルームメイトと過ごすという良い経験ができて良かったと思っています。

たくさんの人のおかげで、留学生活は一生の思い出になりました。私は、現在の社会状況で急な帰国を強いられた為、アメリカでお世話になった先生方や留学生にお礼や感謝の気持ちを伝えることができませんでした。ですが、彼らから学んだことを、今後の人生で活かしていきます。

ジャパニーズクラブのハロウィンパーティーでの写真

